

# Mランドニュース Vol. 101

## 丹波ささ山校 平成27年8月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

握れば拳こぶし

開けば掌てのひら

仏教伝道教会

一日一訓カレンダーより

暑い夏がやってきた！



がんばりまーす！

大学や専門学校の夏休みにもない、サークルやお友だちで入校される方、お一人で入校される方などで、Mランドも賑やかさが増してきました。先日、お一人で入校されたゲストが「一人で来たんですけど、友だちができるか心配で…」とおっしゃっていましたが、「それなら心配しなくていいですよ」とお話ししました。

教習が終わった夜のコースで行うのは、盛り上がり度ナンバーワンの「Mリンピック」です。

まずは男女混合の四チームで競う自動車押しで、アクセルを踏んで動き出すのはエンジンの力あればこそ。その自動車を人の力で押すのです。ここは男子の力の見せどころとばかり「うおー！」と猛ダッシュ、その速さに着いていけない女子が後を追いかけていくチームもあり、見ているものを大爆笑させていました。



「待って〜」



「いくぞー！」

勝敗はスコアボードを見れば一目瞭然で、勝者チームは満面の笑みでガッツポーズでしたが、それもつかの間。Mランドの理念は「譲る」。競技結果はまさかのフリーに、「勝ったら負け」のジャンケン勝負で決めることに変更され、結果、競技最下位チームが優勝に。歓声をあげて大喜びされるチームに、「ささ山が好き」とプリントされた赤いMランドTシャツが贈られました。勝敗に関わらず、チームで力を出しきった



心をひとつに

つづいての大縄跳びでは、各チーム綿密に作戦を練っていざ本番。でも、一回しか跳べないチームもありましたがこれもご愛嬌です。ひとつの目標に向かって、ゲスト同士知恵を出し協力するところに本当の楽しさがあります。

一体感が仲間をつくらせていくのでしょ。



最下位から優勝に！ハイジャンプ！

翌日、赤いTシャツを着て教習を受けておられるゲストをお見かけしました。



競技も終わり、みんなで記念撮影

お便り

先月、卒業された妹尾香蘭様から嬉しいお便りをいただきました。原文のまま、ご紹介させていただきます。

Mランド篠山校の皆さまへ  
十三日間、毎日楽しく過ごせることができました。これも楽しい中にも、厳しく車の運転を教えてくださいました、インストラクターの皆さまと、毎日美味しいご飯を作ってくださいました「ミロ」の皆さま、私たちの安全を見守ってくださいましたホームーさんと、篠山の大自然のおかげです！この篠山校で学んだことを忘れず、安全運転を心掛け、感謝の気持ちを伝えること大切さも忘れることもなく、過ごしていきます。これから、忙しい時期など体調にはお気を付けて、もっと篠山校が素敵な学校になることを願っております。是非、鹿児島にきてください。お待ちしております。短い間でしたが、大変お世話になりました。今度はゆっくり篠山の大自然を堪能しにきます！篠山、ありがとうございます。

私たちスタッフだけでなく、篠山の自然にまで感謝された妹尾様に、篠山の自然の素晴らしさを逆に気付かせていただきました。私たちの方こそ感謝です。「ありがとうございました」

## 手話教室

七月も十二日と二十一日、始業前の五十分間を利用して、手話教室を実施しました。いつも熱心にご指導くださる、篠山ろうあ協会大内和彦様と白井実加様のおかげで、手話がずいぶん身近なものになってきました。

今月は短い文章から長い文章の手話になり、十二日の研修修了時に教えていただいた五つの文章の手話を、「次回は一人ひとり前で発表していただきます」とのこと。さあ大変です。若い職員はともかく、年配の職員は覚えるのが大変なのです。日が近づいてくると、職員室では休憩時間のたび、あちらこちらで練習しているのが、まるで試験前の受験生のようです。



熱心にご指導される大内様

全員その甲斐あって当日は細かい指導はあったものの、白井様の声に合わせて手話ができるようになりました。これにあわせて見ている側も自信をもって手話ができるのですから、今までになく一体感のある手話教室になり、大内様からも「熱心に取り組んでくださっている」とお褒めの言葉をいただきました。教習を受けに来られる、ろうあの方ただけではなく、昨年十二月に制定された「篠山市みんなの手話言語条例」をさらに推し進めていく意味でも、手話ができるMランドにしていきます。

手話研修担当 近藤 沙代

## 切磋琢磨

七月二十一日、「そうじのカプロジェクト」リーダー研修会を行いました。

はじめに先月益田校で開催された「そうじのカ総会」で、私が受けた感動を報告し、そこから今後私たちの方向性を小早祥一郎先生よりお話しいただきました。研修会はこの一か月の各班の取り組みや、進捗状況

を発表し小早先生よりアドバイスをいただき、その後、現場での実習となり館内を移動するのですが、今回はいつもと違う教室で、「蛍光灯を見てみましょう」と小早先生。いわゆる蛍光灯の「傘」が気付かないうちに汚れていたのです。早速みんなで磨いていきます。



気付かない傘の汚れ

かと思えば、「ここも見てください」と長テーパーの裏。なんとシールやガムがこの机のあの机にも付着していたのです。日常、机の上を拭くことはあっても、何十年も机の裏には目配りができていませんでした。



削り取ったガム(左)、削り取る作業のようす(右)

極めつけは「開かずのカーテン」。誰も開けることをしないので、汚れていることすら気付かないのです。もう、言い訳のことばも見つかりません。



Before



After

小早先生は、「よこれているのが悪いと言っているのではありません。この取り組みは気付きの感性を上げていくのが目的です」と言われます。同じところに長くいると、異常が異常であることに気が付かなくなっていくようです。

小早先生、教室を見渡し最後にひとこと、「まだまだ材料はいっぱいありますよ」。

六つの班のリーダーのみの研修ではありましたが、この感性を少しずつ広めていくことが大切です。また、ほんの少し観る目と心を広くさせていただきます。

そうじのカ担当 井本 徹

## Mランドフェスタ2015 開催決定！！

篠山の街を  
1000人で

大そうじ

平成27年11月8日(日)



※詳細については随時お知らせします！

## 『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

8/ 9(日) 八上小学校 西トイレ  
(Am7:00~8:00)

8/23(日) 篠山中学校 運動場トイレ  
(Am7:00~8:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

## 編集後記

先月、「Mランドニュース百号おめでとうございませ」というお便りをいただきました。あらためてニュースをご覧いただいていることに感謝致します。五十九号から担当し、ニュースづくりの右も左も分からない私に、(株)タニサケ 松岡浩会長が丁寧にご指導いただいていることも本当に有難いことです。それにお応えできずニュース発送後に間違いに気付くことも度々で、申し訳ない限りです。そんな失敗に私は悔いを感じることなく、Mランドのようすを皆さまにお伝えできればと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。(徹)